

上野陽一 （おのの ひろひと） 産業心理學者。明治十六年十月、二十八日東京芝生乳
 昭和二十二年十月十五日歿（二八三—九五七）。寫眞師上野孝馬は伯父。
 明治四十一年東京帝國大學文科大學哲學科卒。翌年心理學通俗講話會
 を興し、四十五年雜誌『心理研究』を創刊。大正十一年産業能率研究
 所所長、同所閉鎖後の十四年、自ら日本産業能率研究所を設立。昭和
 十年雜誌『オオオボ』のち『能率道』と改題し創刊、十七年日本能率
 學校創立、翌年立教大學教授、二十五年産業能率短期大學を創設し、
 翌年學長就任。この間の二十三年、人事院人事官とはり公務員制度の
 確立に貢献。

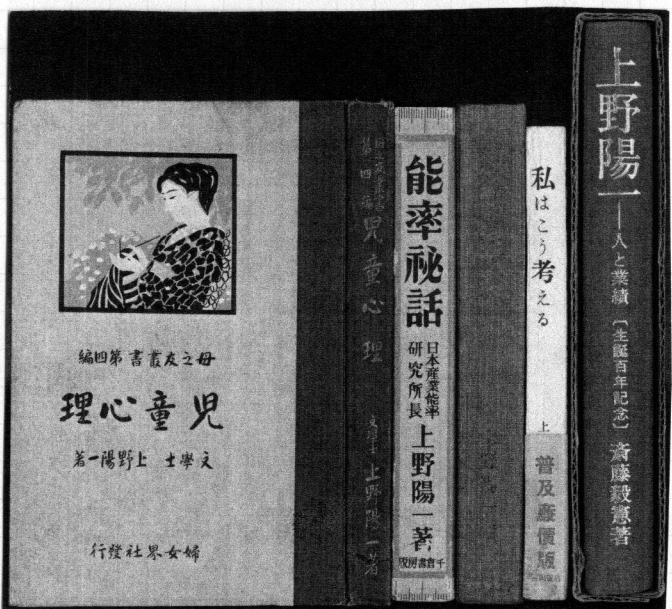
譯書、ジエー、アール、エンジエル著『機能主義心理學講義』（明治四
 十三年十一月十日同文館）。著書、『兒童心理』（大正十一年十一月
 二十五日婦女界社）『母之友叢書』（『現代文化と教育』（合著・國
 民教育獎勵會編、大正十二年二月一日民友社）、『能率學者の放言記』
 （大正十四年六月二十日大阪・
 プラトン社）、『能率祕話』（昭
 和五年五月二十七日千倉書房）、
 『これをやる法（増補改訂版）』
 （昭和十一年六月十四日千倉書
 房）、『全の生理心理的研究』



發會「同愛叢
 書」特輯）、

『能率と青年』

（昭和十八年四月二十日潮文閣）、



編四第 書叢友之母
理心童兒
 著一陽野上士學文
 行發社界女婦

可私はこゝろ考ふる也 (昭和二十六年一月) 十日池田書店「今日の教養
書選」(一)等。斎藤教裏著「上野陽」一人と業績 (昭和五十八年十月
二十八日産業能率大学) 刊。